

令和7年度 学校運営等に関する評価書	
学校名	和歌山市立 西脇中学校
作成日	令和 8 年 2 月 24 日

1 教育目標

共に 豊かに 生きる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	①全国学調生徒質問紙で平日の家庭学習を1日3時間以上率の向上 ②全国学力習状況調査の正答率の向上	①「学校が楽しい」(生徒80%) ②「自分には良いところがある」(生徒肯定的70%) ・いじめの問題解消率100%	①朝ごはんを食べた(生徒90%) ②ネットの利用時間が短くなった(生徒70%) ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)	①学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ②中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
意見重点目標に対する	◎基礎・基本の確かな定着 ◎「学び合いの授業」の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進	○適切な目標である。 ○自己肯定感が高いので、いじめに向かうベクトルは小さいと思われる。 ○いじめに対する正しい認識を持たせる。	○適切な目標である。	○適切な目標である。 ○学校と地域の連携は、よくできている。 ○地域の中で、「共に豊かに生きる」を実感できて嬉しい。
意見取組状況に対する	○全国学調の結果が残念だった。 ○成果を上げるためには先生方の効果的な取組が必要である。	○生徒に様々な経験をさせ、社会のルールを学ばせるために職業体験を行ってほしい。 ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について子どもたちに、しっかり指導してほしい。	○授業を通して規則正しい生活習慣の大切さを指導してほしい。	○たくさんのクラブが地域に出向き、行事に参加できている。 ○部活動の活躍は地域の住民の励みになっている。
に取組の適切さの検証結果	○家庭学習習慣が不十分であるというアンケート結果をうけて、具体的な対策を行う必要がある。 ○「わからなかったら先生に聞こう」とする生徒を増やしたい。教員の資質向上を期待する。	○学校が楽しいと答えた生徒の割合が高いことはうれしい。 ○思春期の子どもたちなので、しっかり話を聞いてあげられる機会を持ってほしい。	○「早寝、早起き、朝ごはん」運動を継続する。 ○学校行事等を通して体力向上を目指す。	○保護者対応は、難しいかもしれないが粘り強く取り組んでいってほしい。 ○学校家庭間連絡アプリの導入は良いと思う。
改善年度に向けての意見	○早い時期から進路を意識させるなど学習の目的を持たせることが大切である。 ○放課後等を活用して理解できていない生徒が、補習できる機会を設定してほしい。	○定期的な人権教育を継続する。(「リスペクトアザーズ」など講師を招聘して行うなど) ○社会を明るくする運動や、人権作文コンテスト等に積極的に参加する。	○保護者・地域と協力して交通安全・防災教育を行う。 ○家庭と連携し、規則正しい生活習慣を獲得するための啓発活動を行う。	○学校家庭間の連絡アプリを活用して、学校の様子をタイムリーに伝えられるようにする。 ○民生委員との連携を密にする。 ○小中間の接続・連携が取れていることは良い。今後も広がってほしい。

3 其他のご意見

- ・安全な自転車通学のための指導が必要である。
- ・生徒の学力向上に努めてほしい。